

飛騨高山観光特集

観光基盤のまちづくりに向けて

インタビュー

外国人客は過去最高 客室5000で多様な選択肢

シルバー賞受賞喜び

岐阜県の飛騨高山が観光客でにぎわっている。古い町並など観光名所には日本人や外国人旅行者の姿が目立つ。飛騨・高山観光コンベンション協会の堀泰則会長（ひだホテルプラザ）に飛騨高山の魅力や今後の課題などについて聞いた。聞き手は編集委員の内井高弘。（2月下旬、協会事務局で）

「市内は多くの人でにぎわっています。最新の入り込み状況はいかがですか。」

「2024年の観光入り込み客数は42万2千人で、前年比8.6%増です。新型コロナ禍前の19年（47万3千人）には及びませんが、客足は確実に戻っています。うち、宿泊客数は24万9千人で、同17.3%増と桁の伸びです。」

「外国人旅行者は日本全体で見ても増えていますが、飛騨高山ではいかがですか。」

「宿泊客数は76万9743人で、過去最高となりました。伸び率は70.1%で、大きく増えました。地域別に見ると、アジア・中東が35万1025人、欧州18万1003人、北米5万7472人、中南米1万1001人、オセアニア3万7875人、アフリカ723人などです。」

「オーパーツーリズムが問題になっていますが、そこまでは聞いていませんが、そこまでは聞いていません。」

「26年には8千人収容の大型施設が開発予定です。受け入れにあたっては何の問題もありません。MICEは消費額も大きいだけに積極的に誘致していく。産業団体、グローバル企業、大手企業のインセンティブ旅行などに飛騨高山の観光資源を活用したプロモーションなどを展開していきたいです。」

「25年度については協会としてどんな事業活動。」



飛騨・高山観光コンベンション協会会長 堀 泰則氏

「17年以降急激に増え、24年1月現在では4300施設となっています。客室数については、25年以降の確定分を含めると5千室の規模となります。山間部の都市にこれだけの客室数があるというのは非常に珍しく、民泊施設など

「増加も著しく、カジュアルからラグジュアリーまで、観光客の選択肢が多いのは大きな特徴です。」

「特にお食事の面で受け入れ態勢が十分ではない。夜遅くまでやっている店が少なく、夜の観光に対応できていない。ナイトタイムエコノミーではありませんが、皆さんの協力を得て、何か手を打たないとダメだと思います。」

「17年以降急激に増え、24年1月現在では4300施設となっています。客室数については、25年以降の確定分を含めると5千室の規模となります。山間部の都市にこれだけの客室数があるというのは非常に珍しく、民泊施設など

「市は昨年10月、持続可能な観光地を国際的に認証する「グリーン・デスティネーションズ・アワード」でシルバーアワードを受賞しました。」

「中野地区では初の受賞となり、大変うれしいです。受賞したからといって何か急に変わるわけはありませんが、SDGsに対して真剣に取り組んでいる都市として

「使途については、「国際観光都市飛騨高山」実現に向け、①観光振興（バリアフリー対策による居住、滞在環境の向上、インバウンドに対するマナー啓発の強化など）②環境保全（公衆トイレや通関機などの利用環境の向上など）③文化振興（文化財の保全や活用など）④危機管理（インバウンド医療体制の強化など）⑤組織運営（観光専門人材の確保や育成など）の5事業に充てるほか、賦課徴収に要する市の経費や特別徴収義務者の支援に活用します。」

「25年度については協会としてどんな事業活動。」

宿泊税10月1日実施

国際観光都市実現に

税金4億円見込む

「増加も著しく、カジュアルからラグジュアリーまで、観光客の選択肢が多いのは大きな特徴です。」

「特にお食事の面で受け入れ態勢が十分ではない。夜遅くまでやっている店が少なく、夜の観光に対応できていない。ナイトタイムエコノミーではありませんが、皆さんの協力を得て、何か手を打たないとダメだと思います。」

「17年以降急激に増え、24年1月現在では4300施設となっています。客室数については、25年以降の確定分を含めると5千室の規模となります。山間部の都市にこれだけの客室数があるというのは非常に珍しく、民泊施設など

「市は昨年10月、持続可能な観光地を国際的に認証する「グリーン・デスティネーションズ・アワード」でシルバーアワードを受賞しました。」

「中野地区では初の受賞となり、大変うれしいです。受賞したからといって何か急に変わるわけはありませんが、SDGsに対して真剣に取り組んでいる都市として

「使途については、「国際観光都市飛騨高山」実現に向け、①観光振興（バリアフリー対策による居住、滞在環境の向上、インバウンドに対するマナー啓発の強化など）②環境保全（公衆トイレや通関機などの利用環境の向上など）③文化振興（文化財の保全や活用など）④危機管理（インバウンド医療体制の強化など）⑤組織運営（観光専門人材の確保や育成など）の5事業に充てるほか、賦課徴収に要する市の経費や特別徴収義務者の支援に活用します。」

「25年度については協会としてどんな事業活動。」

「観光振興については当協会と行政、各地の観光協会が携わってきましたが、一部業務の重複があるので、役割分担を整理します。05年の町村合併で各地の観光協会を高山市観光連絡協議会という組織に一括にしています。DMO（飛騨・高山観光コンベンション協会）内に「観光地域連携委員会」を新設し、その中に組み入れ、独自の地域資源の掘り起こしや誘致を一体感をもって取り組むようにします。」

「4月に大阪・関西万博が開幕します。飛騨高山にもいい影響を与えるでしょうか。」

「外国人も含めて、万博を観た後は中部にも足を運んでほしいですね。万博をにらんでどう情報発信していくのか、検討していきたい。」

「25年度については協会としてどんな事業活動。」

「観光振興については当協会と行政、各地の観光協会が携わってきましたが、一部業務の重複があるので、役割分担を整理します。05年の町村合併で各地の観光協会を高山市観光連絡協議会という組織に一括にしています。DMO（飛騨・高山観光コンベンション協会）内に「観光地域連携委員会」を新設し、その中に組み入れ、独自の地域資源の掘り起こしや誘致を一体感をもって取り組むようにします。」

「4月に大阪・関西万博が開幕します。飛騨高山にもいい影響を与えるでしょうか。」

「外国人も含めて、万博を観た後は中部にも足を運んでほしいですね。万博をにらんでどう情報発信していくのか、検討していきたい。」

「25年度については協会としてどんな事業活動。」

「観光振興については当協会と行政、各地の観光協会が携わってきましたが、一部業務の重複があるので、役割分担を整理します。05年の町村合併で各地の観光協会を高山市観光連絡協議会という組織に一括にしています。DMO（飛騨・高山観光コンベンション協会）内に「観光地域連携委員会」を新設し、その中に組み入れ、独自の地域資源の掘り起こしや誘致を一体感をもって取り組むようにします。」

市にシルバーアワード、中部地区初

持続可能な観光地 国際的認証受ける



受賞プレートを手にする堀会長（右）と田中市長

高山市は昨年、持続可能な観光地を表彰する「グリーン・デスティネーションズ（G.D.アワード）」で、シルバーアワードを中部地区

「初めて受賞した。オランダに本部がある国際的な認証機関G.D.が実施する制度で今回は高山市、愛媛県大洲市、香川県小豆島がシルバーを受賞。」



外国人観光客でにぎわう古い町並

「観光地マネジメント、自然と景観、環境と気候、文化と伝統、社会福祉、ビジネスとコミュニケーションの六つのテーマ84項目について審査し、達成度合いでアワードを授け、ゴールド、プラチナの各賞が与えられ、最終的に全ての基準をクリアすると認証となる。有効期間は2年。」

「飛騨・高山観光コンベンション協会が昨年5月に申請し、84項目の基準のうち、高山は環境と気候、文化と伝統、社会福祉、ビジネスとコミュニケーション分野における取り組みが高く評価され、シルバードアワードを受賞した。飛騨高山認証制度」を設け、文化の継承・発展と経済の活性化を図っていることが評価されたという。

Green Destinations Award Silver Award certificate for Takayama City, Japan. The certificate is presented by the Green Destinations Certification Committee and certifies the city's attractiveness, quality, and efforts for sustainability. It includes the name of the chair, Dr. Albert Salman, and the date of issue (30.09.2024).